



石川県産の木材を使った温かみのあるお堂になりました。

これからも地域を見守り続ける

稲荷の地蔵堂が建て替え

稲荷地内に江戸時代から立つと伝えられ、地域で親しまれている地蔵のお堂が地元有志によって建て替えられ、2月21日(金)に除幕式が開かれました。昨年12月から始まった工事の期間中は、近所に住む平野さんが地蔵を引き取り布団に寝かせ大切に預かっていましたが、約2カ月ぶりに新しくなったお堂に戻りました。

参列した子どもからお年寄りまでの約30人は地蔵に手を合わせ、「優しい顔やね」「またお参りしに来るね」と声を掛けていました。

市民の思いで住みよいまちに

令和元年度提案型協働事業成果発表会

2月22日(土)、にぎわいの里ののいち カミーノで提案型協働事業成果発表会が行われ、今年度採択された6団体が取り組みを発表しました。金沢工業大学 BusStop プロジェクトは、バス現在地がLED表示で分かるバス停を作成。実証実験が好評だったことや、実用化に向けた改善点などを話しました。その他には、地元野菜を使った調理実習やマルシェ、遊んで学べる防災迷路など、各団体の成果と今後の展望が報告されました。これからのさらなる活躍が期待されます。



のっティの現在地が光るバス停を展示しました。



家庭での火災への備えとして火災報知器の設置・点検を忘れずに！

火の用心は身の回りから

春季火災予防運動に伴う火災防ぎょ訓練

火災が発生しやすい春。この時季に、防火意識の普及や訓練を行うことで、火災の発生を防止することを目的に春季火災予防運動が県内各地で実施されています。市内でも押野保育園を会場として、3月22日(日)に火災防ぎょ訓練が行われました。町内会関係者、押野自警団、市消防団、消防署など約130人が参加し、火災発生時の行動を確認。119番通報から始まり、消防機関による放水といった一連の動きを実際の場面ながらに行い、張り詰めた空気の中の訓練となりました。



たくさんの方が活躍を撮影。発表後は大きな拍手が送られます。

クラブでの練習成果を発表！

ふじひら児童館ミニフェスタ

2月29日(土)にふじひら児童館ミニフェスタが行われ、小学生や保護者など約70人が参加。児童館で練習に励んでいる2つクラブが日々の成果を発表しました。初めに「きらきらバレエクラブ」がバレエを披露。6年生は本格的なトウシューズを履いての発表です。その後は、「ダンスキッズクラブ」がアップテンポなダンスパフォーマンスで会場を盛り上げました。

最後は人権擁護委員のお話し会も実施。いじめなどの人権問題を、絵本や紙芝居を通して啓発しました。

まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎227-6056

共に過ごした日々を胸に

市内小中学校 卒業式

3月13日(金)に中学校、19日(日)に小学校の卒業式が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模の縮小や、換気などを徹底した上での開催。中学生481人と小学生548人が学び舎から旅立ちました。

布水中学校では、福永伸治校長が「自らの可能性を信じ活躍して欲しい」とはなむけの言葉を送り、卒業生代表の松井優大さんが「たくさんの人からもらった愛を勇気に変え、夢へ向かい進んでいきます」と答えました。

富陽小学校では、池岸晃弘校長が「あいさつ・安全・ありがとうの三つの“あ”を大切にしてください」とエールを送りました。最後は、先生や保護者へ向けた卒業生全員からの感謝の言葉で締めくくりました。



校歌斉唱(富陽小)



代表生徒へ卒業証書授与(布水中)



一人ひとり名前を読み上げ(布水中)

卒業生答辞(布水中)



代表児童へ卒業証書授与(富陽小)



いくつになっても学び続けるってとてもすてきです。

老いて学べば 即ち死して朽ちず

寿大学校・大学院修了式

2月25日(火)に、にぎわいの里ののいち カミーノで寿大学校・大学院の修了式が行われ、一年間の学びを修めた60歳以上の受講生延べ228人が出席しました。今年度、修了したのは大学校で52人、大学院では219人。代表して謝辞を述べた小林さんは「この学校で経験した全てが新鮮で楽しかったです。これからも自分という花を枯らさないよう、水をあげていくような気持ちでさまざまなことに取り組んでいきたいです。」とこれからの更なる学びへの意欲を話してくれました。

本で伝える命の大切さと生きる希望

3月は自殺対策強化月間

自殺対策強化月間にあわせ、3月1日(日)～31日(火)に学びの杜ののいち カレードに命の大切さや生きる希望を伝える本の特設コーナーが設けられました。生活環境が大きく変わる3月は、自殺者が増える傾向にあります。身近な人に不眠などの気になる様子があれば、一声かけてあげることが、命を守る第一歩となります。特設コーナーには、気軽に本を手にとってほしいとの思いから、心を和ませる写真集もセレクトしたそうです。皆さんも命について考えてみませんか。



気持ちを向上させてくれそうな本がいっぱい。